

令和6年度 学校経営計画表

1 学校の現況

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------|------|-----|------------|---|------|---|-------|-----|----------------|------|------|---|------------|---|---|----|
| 学校番号 | 5 | 学校名 | 県立日立工業高等学校 | | | | 課程 | 定時制 | | 学校長名 | 西野守郎 | | | | | |
| 教頭名 | 清水裕美 | | | | | | | | 事務(室)長名 | 高橋芳子 | | | | | | |
| 教職員数 | 教諭 | 9 | 養護教諭 | 1 | 常勤講師 | 0 | 非常勤講師 | 0 | 実習教諭、実習講師、実習助手 | 1 | 事務職員 | 1 | 技術職員等 | 3 | 計 | 18 |
| 生徒数 | 小学科 | | 1年 | | 2年 | | 3年 | | 4年 | | 合計 | | 合計 クラス数 | | | |
| | | | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | | | | |
| | 総合学科 | | 3 | 1 | 2 | 1 | 1 | 0 | 2 | 1 | 8 | 3 | 4 | | | |

2 目指す学校像

- ・生徒一人ひとりの能力・適性・個性を伸ばすとともに「自ら考える力」を育て、創造力豊かな人間の育成をめざす学校
- ・社会の変化に主体的に対応できるよう望ましい人間関係を築かせ、社会で自立できる心身ともに健康な人間の育成をめざす学校
- ・「ものづくりを通じた人づくり」の工業高校の伝統を継承し、生徒一人ひとりの夢や希望の実現を支援していく学校

3 三つの方針（スクール・ポリシー）

| | |
|---------------------------------------|---|
| 育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー) | <ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人ひとりの能力・適性・個性を伸ばすとともに「自ら考える力」を育て、創造力豊かな人間を育成します。 ・社会の変化に主体的に対応できるよう望ましい人間関係を築かせ、社会で自立できる心身ともに健康な人間を育成します。 ・「ものづくりを通じた人づくり」の工業高校の伝統を継承し、夢や希望の実現のために可能性を伸ばし、自分の能力を高め努力する人間を育成します。 |
| 教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー) | <ul style="list-style-type: none"> ・県内で唯一の定時制単位制総合学科であり、「普通系列」・「工業系列」の選択による自分に合った学びが用意されており、様々な進路に応じた支援を行います。 ・基礎学力の定着に重点を置き、義務教育内容の学び直しも含め、基礎基本を重視した教科指導を行います。 ・通信制課程の高等学校との併修制度を利用し、3年間で卒業できる「3修3卒制」を行います。(希望者対象で、2・3年次での実施となります。) |
| 入学者の受入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー) | <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの自分を見つめ、いろいろなことを基礎から勉強し、自分らしく生きていくためのベースをつくりたいと願っている生徒。 ・自分と他者の良さを大切にし、お互いに励まし合い、協力し合い、学校生活において穏やかで健全な人間関係を築こうとする生徒。 ・高校卒業後の社会的自立と進路希望の実現に向け、各種資格・検定に挑戦するなど、自分の能力を高めようとしている生徒。 |

4 現状分析と課題（数量的な分析を含む。）

| 項目 | 現状分析 | 課題 |
|------|--|---------------------------------|
| 学習指導 | 中学校までの基礎的学力が不足している生徒や学習意欲の希薄な生徒が見受けられる。 | 基礎学力を定着させるためのわかる授業展開の工夫。 |
| 進路指導 | 卒業後のヴィジョンや就職に対する目的意識が曖昧で、フリーター等場当たりの進路選択をしてしまう生徒が見受けられる。 | 4年間(3年間)を通じた自己の適性を見いだす進路指導の推進。 |
| 生徒指導 | 基本的生活習慣が乱れがちな生徒や社会的マナーに対する意識の低い生徒が見受けられる。 | 規範意識の高揚、規律ある生活態度や他者への思いやりの心の育成。 |

| | | |
|-------|---|--|
| 特別活動 | 生徒が学校行事等に積極的に参加するようになり、行事内容のレベルも高くなってきた一方、生徒数の減少により従来通りの学校行事の運営が困難になってきている。 | 生徒が主体的に活動できる、また現状に即した学校行事の企画・運営の検討。 キャリアパスポートの有効活用。 |
| 働き方改革 | 生徒や保護者への対応が多いことに加え、事務処理等の仕事が増加傾向であり、超過勤務が危惧される。 | 業務分担の見直し及び書類作成等の事務処理や会議等の効率化。 |

5 中期的目標

| |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1 教員に校内研修及び希望研修の受講を奨励し、「わかる」授業の推進及び生徒の基礎学力の向上と定着を図る。 2 全教職員が一体となり生活指導に取り組み、日常生活に必要な社会のルールやマナーをしっかりと身につけさせる。 3 勤労観・職業観を育てる進路指導を行いながら、人間としての在り方・生き方を学ばせる。 4 各種行事に工夫を凝らし、生徒の帰属意識を高揚させる。 5 地域からの信頼と期待を得るために積極的な情報発信に努める。 6 業務の分担見直しや効率化を図ることにより、超過勤務時間の削減に取り組む。 |
|--|

6 本年度の重点目標

| 重点項目 | 重点目標 |
|------------------------|---|
| 基礎学力の向上と定着 | ①生徒の能力や実態に応じた題材や単元を選択し、生徒がわかる授業・主体的に取り組む授業を展開する。 ②授業規律の確立に努める。 ③3年間でも卒業できるメリットを活かし、学習意欲の向上を図る。 |
| 全教職員の一体化とコミュニケーションの重視 | ④全職員による生徒の規範意識の高揚、マナーの向上に取り組む。 ⑤積極的な情報交換を行い、全教職員の連携を図る。 |
| 勤労観・職業観を育てる進路指導 | ⑥全日制進路指導部との連携強化により、生徒に的確な進路情報を提供する。 ⑦資格取得のための補講体制を強化する。 ⑧生徒にインターンシップ参加を促し、就労意識の向上を図る。 |
| 生徒の帰属意識の高揚 | ⑨特別活動部を中心に、校外学習やスポーツデー等学校行事の充実に努める。 ⑩継続的な部活動を奨励し、定通体育大会での入賞を目指す。 |
| 地域への積極的な情報発信 地域との連携 | ⑪中学校訪問を積極的に行い、本校定時制総合学科の存在意義をアピールする。 ⑫定期的なホームページの更新、フォトニュースへの投稿を行う。 ⑬地域の人的・物的環境を生かし、教育活動の向上を図る。 |
| 総合学科の確立 | ⑭円滑な系列選択のためのガイダンスを充実させるとともに、多様な生徒の能力・適性に対応した実践的・体験的な学習指導を推進する。 |
| 働き方改革の推進 | ⑮生徒に効果的な教育活動を行えるよう、教職員自身の人間性や創造性を高めるとともに、心にゆとりをもって業務が行えるよう、情報資産の効率的な共有化を図る。 |
| 授業改善 | ⑯生徒による授業評価において授業満足度（KPI）2.5以上を目指す。 |

別紙様式 1 (高)